

中央監視システム TMS-MP2型

各所に散在するマンホールポンプ機場の運転情報を一括管理し、異常発生時には事前に設定された連絡先にお知らせするのが、ツルミ「マンホールポンプ中央監視システム」です。
さらにマンホールポンプ施設には現場ごとに電話回線式・無線式等選択が出来るなど、諸条件によって細かなカスタマイズも可能です。

マンホールポンプ施設を24時間休まず監視
電話回線式・無線式の通報装置に対応。マンホールポンプ施設数、設置場所など、現場に最適な通報装置を選定できます。

作業記録を蓄積
定期点検や故障対応などのメンテナンス報告が手軽に作成・確認でき、緊急時にも迅速な対応が可能です。

日常の管理業務を軽減
毎日の運転データなどを自動収集し管理します。見たい施設、見たい情報を選択するだけで、容易に確認できます。

自宅等任意の場所でも監視が可能
ネットワークにつながれたパソコンからも監視情報が確認可能。様々な管理体制に応じたシステムが構築できます。

維持管理業務のバックアップに
お客様に合わせた数々の機能でお応えいたします

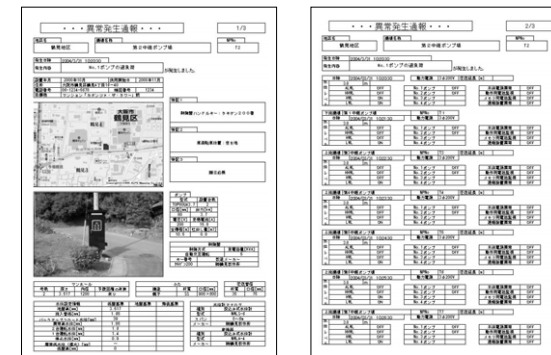
事例 ①

事後保全はどうされていますか？

ツルミなら

「**トラブル支援通報 (FAX機能)**」でお手伝いいたします。

例えば深夜のトラブル発生——『〇〇機場にて故障発生』だけの情報ではどう対処して良いかわかりません。そこで「トラブル支援通報 (FAX機能)」により、位置情報を示す地図はもちろん、トラブルの発生状況や過去の運転履歴、制御盤の鍵ナンバー等、緊急対応に必要とされる数々の詳細な情報を維持管理担当者殿にFAXにてお知らせします。このFAX (対処シート) が有れば、現場でも困りません。



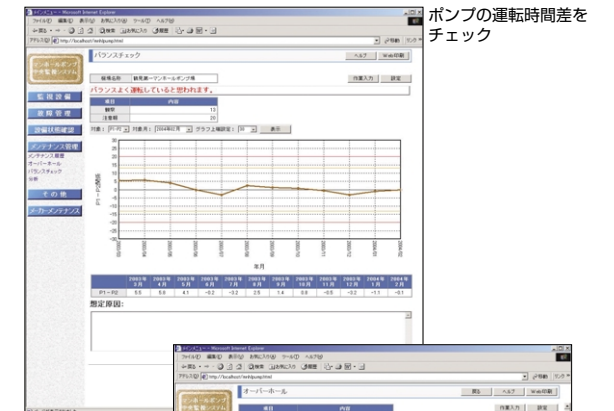
事例 ②

予防保全はどうされていますか？

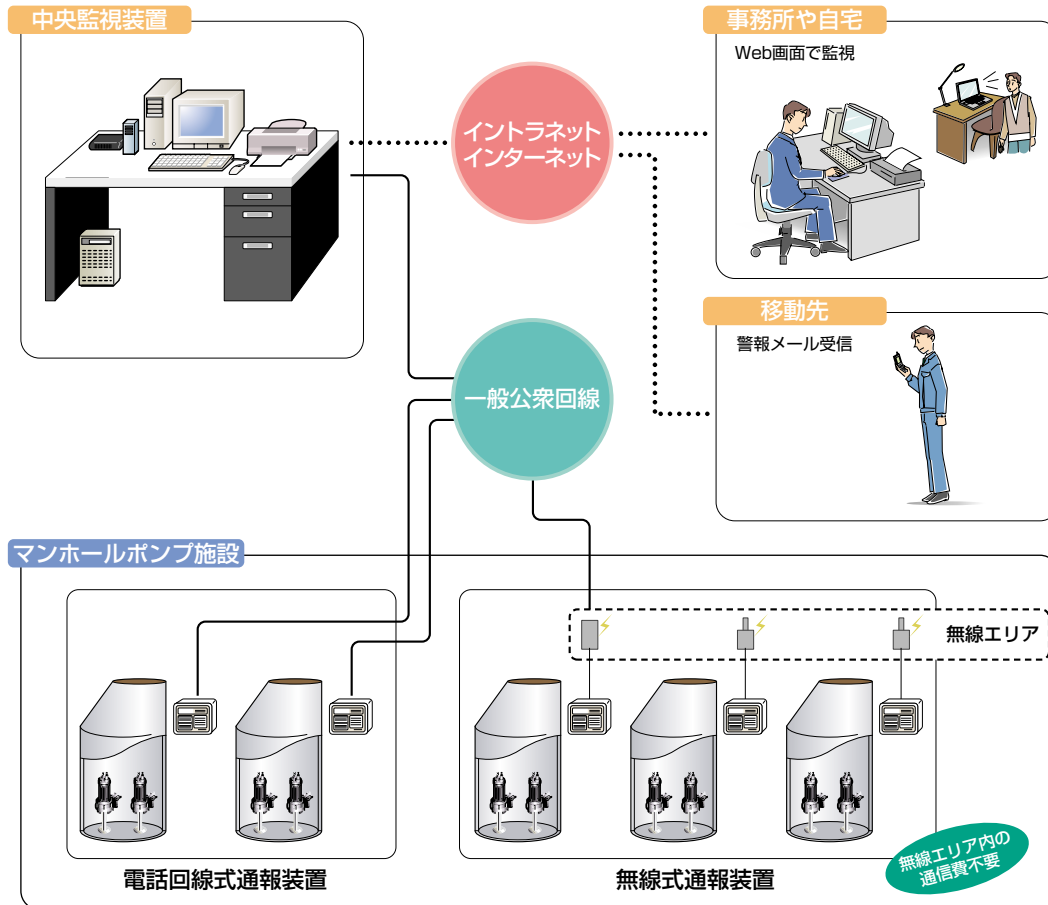
ツルミなら

「**自動分析機能**」でお手伝いいたします。

例えば「日報」や「月報」の帳票 (データ) から、運転時間の変化によるポンプごとのコンディションや、数多いマンホールポンプの次期点検時の読み取りは困難です。そこで「自動分析機能」が、2台有るマンホールポンプの運転時間バランスを監視し、さらに過去の傾向分析等に照合し不具合発生の予防保全を行います。また、各ポンプ現場ごとの運転実績から予測を行ない、次のメンテナンス時期を事前にお知らせします。



点検時期の予測を行ないお知らせ



電話回線式/無線式通報装置は (財) 下水道新技術推進機構推奨の通信規格MP99準拠品です。